



DIPLOMA2021

卒業作品集・活動報告

全国専門学校建築教育連絡協議会

CONTENTS

ご挨拶	…01	ポスターコンテスト	…19～20
定例総会・役員一覧	…02	会員校一覧	…21
卒業作品・作品紹介（16校）	…03～18	協賛	…22

ご挨拶

全国専門学校建築教育連絡協議会は、全国工業専門学校協会の部会として平成7年（1995年）に設立され、今年で26年目を迎えます。設立当初は建築施工技術者試験に関する連絡調整や、問題集の作成を主として活動しておりましたが、近年では定例総会・教育活動報告会・秋季研修会・卒業作品展示会など活発な活動が行われています。

さて、令和3年度山野大星前会長（日本工学院八王子専門学校）から会長職を引継ぐこととなりました。微力ではございますが皆様のお力添えをよろしくお願ひいたします。

この度、卒業作品集（活動報告）を発行させていただくことになりました。発行に際し多くの企業・団体様からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

大変残念なことに新型コロナウィルス感染症の拡大に終息の兆しが見えず、昨年に引き続き卒業作品展示会は開催中止となりました。本来であれば専門学校生が精魂込めて作り上げた作品を実際にご覧いただき、ご意見賜りたいものですが現状においてやむを得ないと判断しております。

会員校一同はコロナ禍の現在も学びを止めず、様々に工夫を凝らした授業を行っています。一日も早く日常を取り戻し活発な授業展開が出来るよう願つてやみません。

末筆ではございますが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



全国専門学校建築教育連絡協議会
会長 松田 正之

2021年度 定例総会

新型コロナウイルス感染症対策のため、初のオンライン形式にて、6月18日開催しました。

1. 参加者：27校（委任状8校含む）、39名
2. 議 案：
第1号議案 2020年度 事業報告
第2号議案 2020年度 決算報告
第3号議案 2021年度 事業計画(案)
第4号議案 2021年度 予算(案)
第5号議案 2021年度・2022年度 役員改選(案)



2021年度・2022年度 役員一覧

役職名	氏名	所属
会長	松田正之	中央工学校
副会長	堤下隆司	修成建設専門学校
	白井雅哲	専門学校東京テクニカルカレッジ
常任幹事	平上秀明	中央工学校OSAKA
	宗林功	大阪工業技術専門学校
	仁多見透	新潟工科専門学校
	野村種明	東海工業専門学校金山校
	清水憲一	日本工学院八王子専門学校
幹事	湯浅康生	岡山理科大学専門学校
	原眞佐也	浅野工学専門学校
	今泉清太	麻生建築&デザイン専門学校
	小川貴之	読売理工医療福祉専門学校
	原智樹	筑波研究学園専門学校
	田中卓	広島工業大学専門学校
	飯田有登	町田・デザイン専門学校
	見邨佳朗	修成建設専門学校
	宮野人至	青山製図専門学校
事務局(会長校)	生川清孝	中央工学校
監事	新井長秀	青山製図専門学校
	山野大星	日本工学院八王子専門学校
相談役	堀口一秀	中央工学校

02

定例総会・役員一覧

高架下回遊装置

麻生建築＆デザイン専門学校
建築工学科
田中 大地



03 麻生建築＆デザイン専門学校

高架へのリスペクトと共生。高架を尊重し高架下に入り込み、その特性を計画に反映させました。用途は敷地と麻生キャンパスの関係性を活かした、麻生生の学生寮。日中家にいることが少ない学生だからこそ、高架下という場所に住まうことができ、有効活用できます。高架へのリスペクト・共生 + 学生寮の結果、高架下回遊装置という結論に至りました。寮生を動かすことで交流のきっかけを作ることができる装置です。

よこい図書館

～地域の要素をブリコラージュした分棟型図書館～

岡山理科大学専門学校

建築学科

北村 伸



レヴィ・ストロースの「ブリコラージュ」という概念を参考して、地域の様々なコンテクストを「本」を介してつなぐ図書館を作る。

その地域に存在する施設や歴史、環境といった要素を「寄せ集める」ことで地域のつながりや活性化に寄与することを目的とする。

建築は、本棚で構成された象徴的なデザインの「通路」を動線の中心に据え、そこから派生するさまざまな用途に対応する閲覧室を周辺施設に近接して配置し、街に活力と拡がりを与える計画とした。

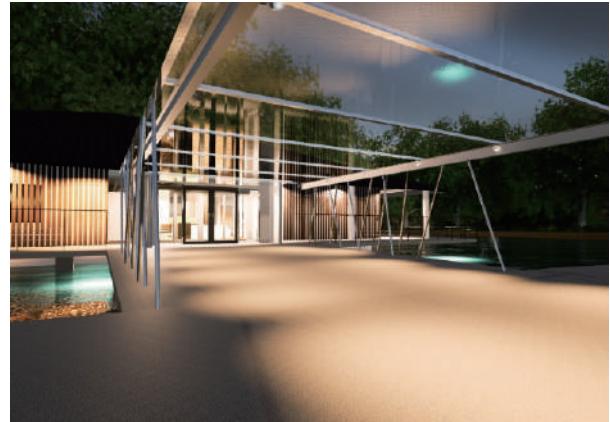
04

岡山理科大学専門学校

ほたるび

～想い、繋がり、続く～

中央工学校OSAKA
建築CGデザイン科 BIMマネジメントコース
久田 礼花



過疎化が進む今日、田舎ではお墓の継承者がいなくなり、遺族に放置されるお墓が深刻な問題になってきています。

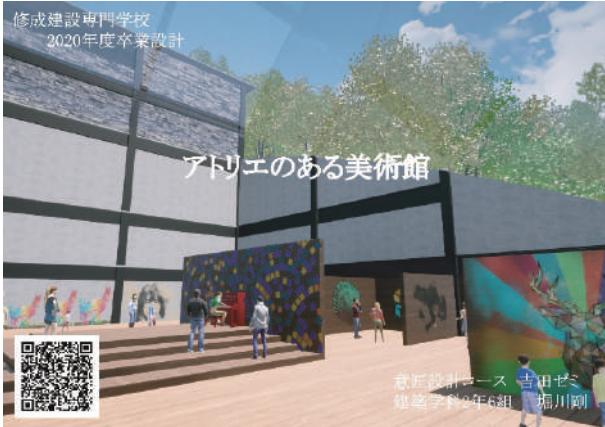
こういったお墓は無縁墓と呼ばれ、いずれ市町村で撤去されてしまいます。それを防ぐためには遺族が墓じまいをしないといけませんが、墓じまいは莫大なお金がかかり、多くの人が頭を抱えている問題でもあります。

このように、かなり身近になりつつある墓問題について卒業制作を通して考えることにしました。

墓問題の解決の糸口として納骨堂を選びましたが、従来の利便的な納骨堂とは少しコンセプトを変え、故郷をテーマにし、故人を懐かしい故郷に帰って偲ぶ、過疎化の進む現代だからこそ改めて必要とされるような建物であってほしいという気持ちを込めて設計しました。

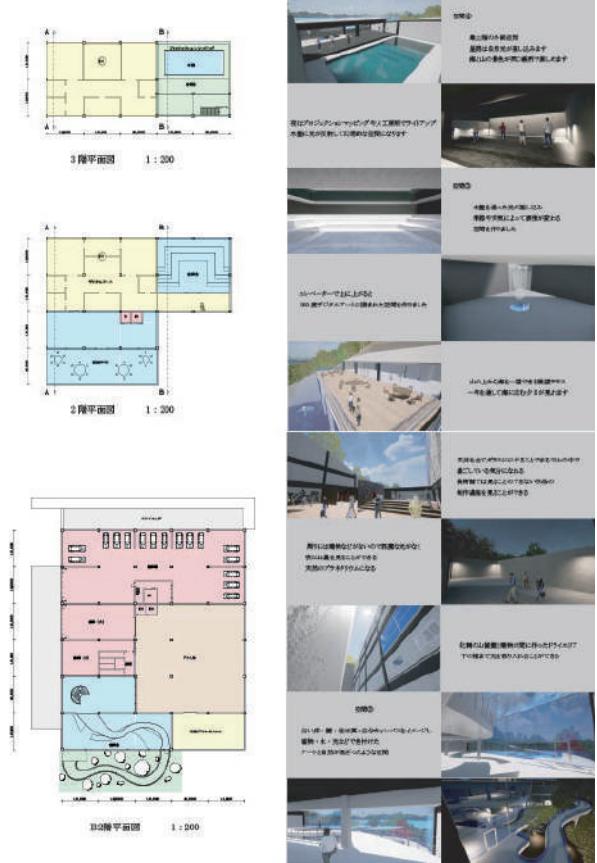
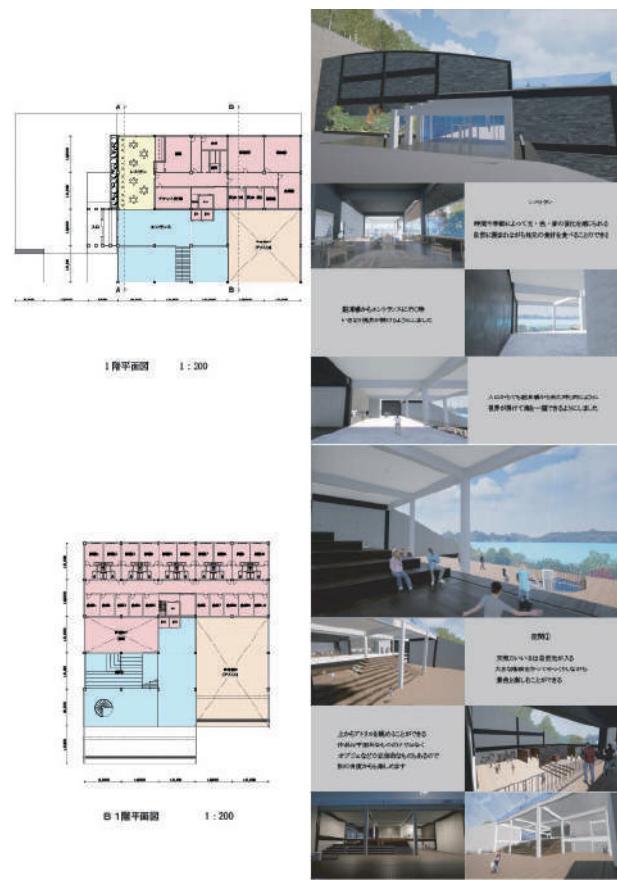
「アトリエのある美術館」

修成建設専門学校
建築学科 意匠設計コース
堀川剛



この作品は亡くなった祖父のために作りました。小豆島にあるお墓が無くなることが決まった時に、自分が小豆島にその代わりとなる作品を残したいと思い計画しました。アトリエがある美術館を計画したのは、画家だった祖父のアトリエが大好きだったので、アトリエの楽しさを色んな人に伝えたかったからです。山の上に建てたのも祖父の好きな景色を再現するためです。

この作品を見て少しでも小豆島や芸術に興味を持ってもらえればと思い作りました。



06

修成建設専門学校

DIPLOMA 2021

全国専門学校建築教育連絡協議会 卒業作品集・活動報告

原風景のスキマに居場所を見つける

大阪工業技術専門学校

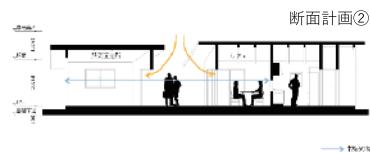
建築設計学科

平野 雄大



原風景の分類

パブリックなスキマが住民を呼び込み、交流が生まれる。
「原風景」を共有・継承することで、次世代の原風景をつくることができる。



コンセプトは「地元」と自分自身をつなぎ直すことです。就職が春に決まってから、近いうちに離れることになる「地元」に強い関心を抱くようになりました。いつの間にか、アイデンティティとも言える「地元」と私の関係が昔に比べて希薄になってしまっていたことに気が付きました。幼少期は様々な地域イベントに参加し、関わりを持っていました。例えば、地域の運動会やお祭りに友達と行ったり、神輿を担いでねり歩いたりと楽しい思い出とともに「地元」と密接な関係がありました。幼かった私にとって「地元」は「自分の町」でした。卒業制作に取り組むにあたって、今このタイミングが、自分と「地元」の関係を築き直す良い機会なのではないかと考えました。それは言い換えると、「地元」を「自分の町」として誇りや自負を持てるよう「空間的・情緒的な結びつき」を強化することです。暮らしの中で染みついた記憶、「原風景」がまちと人をつなぎ、これを通して人同士がつながっていくような考え方で、地域の社会的なつながりの形成を図る。その建築による解決の方法の一つとして「原風景のスキマに居場所を見つける」と題してコミュニティカフェと農作物の直売所兼イベントスペースを設計しました。

地域に溶け込む火葬場

～この場所でしかできること～

東海工業専門学校金山校

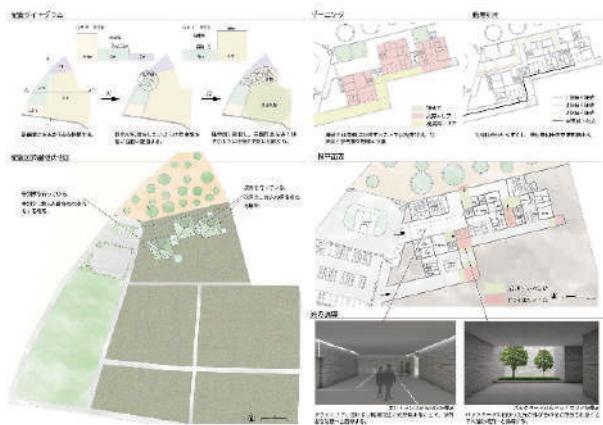
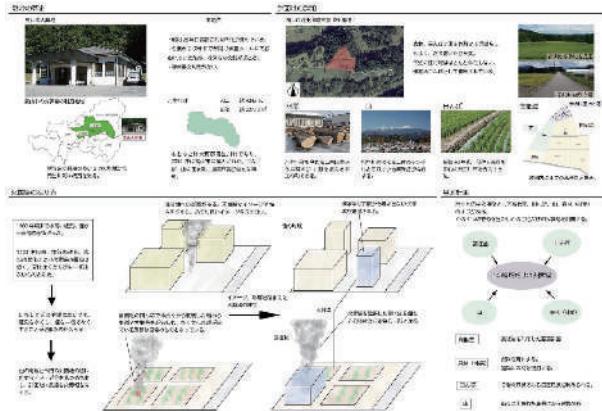
建築工学科

池田 勇海



地域に溶け込む火葬場

～この場所でしかできないこと～



高山市に新たな火葬場を建てる計画。

日本では全国の火葬率は1915年には36.2%だったが、2015年ほぼ100%になり、火葬が人々にとって当たり前の行為となつた。火葬場とは故人との最後のお別れの場所となる特別な場所である。そのため時代に合わせ燃料、建物の形などがより良いものへと変化していった。しかしその一方で、その制限に縛られどの場所でも同じような火葬場が建てられている。今計画ではその変化の中で必要、不必要となったものを見つめなおし、この場所でしかできないことを追求する。そうすることが家族との最後の時間をより良いものとする。

08

東海工業専門学校金山校

DIPLOMA 2021

全国専門学校建築教育連絡協議会 卒業作品集・活動報告

やがて一輪の花になるために

新潟工科専門学校
建築デザイン科
中山 嶋太



やがて一輪の花になるために
～たっぷりの自然で現実逃避～
今度、地域団士のかながわが深く温かい渋らしさを生かしながら、
多文化に対応した新たな「T・N・T」つどい・にぎわい・つながりを創造する住まいを
提案する。というテーマのもと計画しました。

生産年齢人口の減少が近年のことで、20~40代の「ロターン者」、
コロナ禍のあがけだしい都市部の生活に疲れ自然の中で新たな暮らしをしたい方を
ターゲットに今必要な新しい「T・N・T」を創造できる住まいを計画しました。
自然に囲まれた生活をしてみませんか？

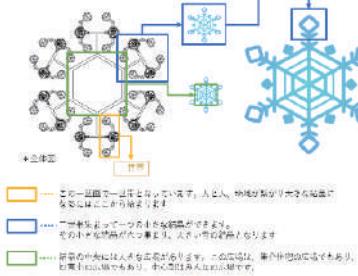


妙高市の特徴

- ・松峰の里と呼ばれる高峰「妙高山」がある
- ・四季の自然と豊かな景色が魅力
- ・登山者がとても多く気温が低い
- ・自然に接することで、自然素材が得意
- ・雪藻も大きく雪原にて行きやすい
- ・四季を通じて自然を感じられる



雪の結晶



T・N・T

- 【T】つどい
自然の中でたっぷり
寒さしない人々が
この集合住宅につどう。
- 【N】にぎわい
つい、自然の良さをせわり、
音楽され、ここだけでも、
皆で全体ににぎわいが生まれる。

【T】つながり

- ・隣のアーバン棟は集合住宅の
心臓であり、お互いの住民でも
会う所。遊びに来た地元の人々、
また県外の人々が訪ねて、
つながりが生まれます。

パーク



図面



妙高と景品

✓ 自然

・妙高市は日本最高峰である「妙高山」
などの、よりお香の山脈に囲まれた渋らし
く風光明媚なうえ、自然のよさ
が際立っています。



✓ 材料

・日本の伝統的な多くの木造
建築がそのまま残されています。
生の木の温かさを感じて、木の良さ
を存続させたいと考えています。
木の良さを活かすため、木の良さを
活用しました。



妙高の四季



各立図



今回、新潟らしさを生かしながら、アフターコロナに対応した新たな「つどい・にぎわい・つながり」を創造する住まいを提案するというテーマのもと集合住宅を計画した。またこの計画により生産年齢人口の増加や地域の活性化をも実現したいと考えた。

新潟らしさとは何か。私は新潟らしさを「温かさ」。「温かさ」とは「人の温かさ」や「自然のぬくもり」です。

アフターコロナに対応した新たな「つどい・にぎわい・つながり」とは？

人が集うことで賑わいが生まれ繋がりができるが、新型コロナウイルスを意識すれば、そこに「距離」が生まれてしまう。

この集合住宅では「距離」を意識しながら「つどう」事によって、新たな「にぎわい」や「つながり」を生む事を目指した。

Skylights house

～密集地における住宅の採光手法の提案～

浅野工学専門学校

建築デザイン科

長岡 由華

Skylights house

～密集地における住宅の採光手法の提案～



品川区西大井は、かつて、ものづくりの街として賑わったが、細分化した土地に再建築不可の家が点在し、現在は独居高齢者が多い。本計画は、西大井にある再建築不可の家を含む既存の木造2階建住宅3棟を繋ぎ、高齢者と若者が同居するシェアハウスを提案する。住宅密集地においてプライバシーを確保しつつ自然採光を取り入れるため、模型を用いた5つの実験を行い、天窓からの採光手法の検討を行った。上階の室にも穏やかな光が落ちるよう、天窓からの光を室の天井裏で反射させる。天窓の位置や大きさ、各室上部の開口と光を反射させる材、下階への光の筒などを既存の躯体を避けて計画した。本計画を街中に展開し、再建築不可の土地を蘇らせ、活気あるモノづくりの街を再生する。

10

浅野工学専門学校

DIPLOMA 2021

全国専門学校建築教育連絡協議会 卒業作品集・活動報告

ステキな距離と境界線

町田・デザイン専門学校
インテリアデザイン学科
中光彩来



現代では結婚をしたくない若者が急増している。そのため家を設計するにあたって住人の設定を私の理想像である仲の良い友達仮面夫婦にした。仮面夫婦にとってステキな距離と境界線とは、近すぎず遠過ぎない距離の中にぼんやりとした境界線があることだ。仲の良い友達仮面夫婦といつても世間体は普通の夫婦のため来客に仮面夫婦とバレないようにする。廊下を長くすることで、リビングダイニングキッチン、ゲストルーム、自室にステキな距離とぼんやりとした境界線を作った。更にシャワールーム、バスルーム、トイレを各部屋に沢山設置することで選択肢を増やし清潔好きな夫婦のリクエストに応え昨今の状況にも対応している。

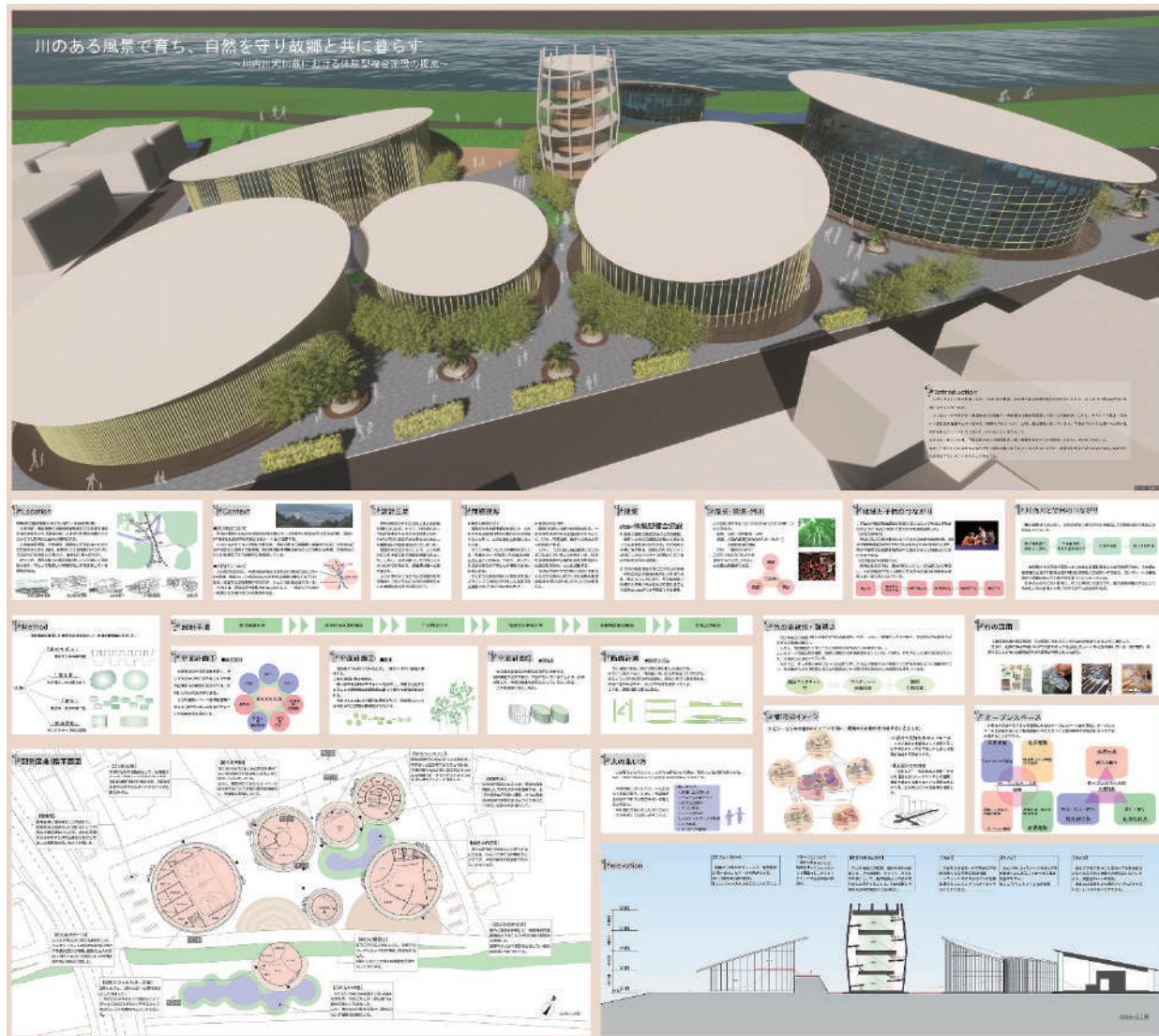
川のある風景で育ち、 自然を守り故郷と共に暮らす

～川内川河川敷における体験型複合施設の提案～

日本工学院八王子専門学校

建築学科

神園 亜衣理



鹿児島県薩摩川内市は河川と人々の距離が離れつつある。かつて、河川を中心として街が形成されてきた。河川で遊ぶ子供の姿をはじめとした「堤防沿いの風景」はその土地で育った人々の原風景となっていた。時代は移り、薩摩川内市は近代化により、人々も豊かになり、水害に対する防災対策も向上した。しかし、その代償として「河川と人々のつながり」が弱まり、殺風景な街へと姿を変えることとなった。

本計画では、「人々と河川のつながり」に加え、街の伝統を後世へつなぐために地元の資源を生かした「故郷」を取り戻す計画を行う。子供が子供らしく成長できる「最高の故郷」と「隠れた資源への気づき」を促す計画とする。そこでは、子どものための小都市を形成し、人を呼び込み、集まった人々により田舎のつながりを再認識することができ、身近にあふれる自然資源を故郷にしかない「ただ一つの魅力」だと気づくことで、街の良さを深められる体験型複合施設を提案する。

12

日本工学院八王子専門学校

DIPLOMA 2021

全国専門学校建築教育連絡協議会 卒業作品集・活動報告

まちと水路 つなぐみち

～住民コミュニティ創出と治水施設の融合～

日本工学院専門学校
建築学科
渡邊 優



13

日本工学院専門学校

近年、台風や集中豪雨の影響で水害が日本各地で多発している。まちづくりにおいても治水は重要な課題である。2019年10月に発生した台風19号では、東京23区内でも増水、浸水等の被害が起きた。一方で都市部を中心に住民同士の繋がりは希薄になり、災害時における重要事項の一つである「共助力」が低下しているという問題がある。本計画は東京都大田区の田園調布4丁目・5丁目を対象にしているが、この地区は多摩川と丸子川に挟まれた低い土地で、浸水しやすい土地形状である。更に住宅密集地域であるこの地域は、公共施設等の建設可能な余剰の土地が無く、住民同士のコミュニティを形成する場が計画できない現状である。そこで治水と建築、まちづくりの観点から、水害に対する地域資源を活用し、治水施設、コミュニティ施設、それらを繋ぐ遊歩道を内包するアーバンデザインを提案した。

いこいのち老人ホーム

専門学校東京テクニカルカレッジ

建築科

相馬 海



日本では、年々高齢化が進み地方のみならず東京でも高齢者の増加傾向が続いている。東京の西側に位置し郊外の核心都市として大型店舗の誘致、モノレールなど交通機関の充実など進化し続ける立川市においても同様の傾向がある。近年再開発の盛んな同市においても高齢者増加とともに2015年をピークとして全体の人口減少の局面に入っている。

医療面での進歩により、平均寿命の延伸とともに老後の時間が長くなっている。私自身の老人ホームでの勤務経験を基に、老後を充実した日々にできるように、建築的アプローチにおいて、新たな老人ホームの形を提案したいと思い、卒業設計の課題として設定した。

高齢期の様々な、身体的精神的変化、医療環境、介護、健康管理に対応できるように、高齢期の各段階の「初期の自立期」「生活支援を利用する合間の時期」「日常的に介護が必要になってくる要支援・要介護期」「終末期」の各時期に合わせ、Health(健康管理)、Medical(医療支援)、Care(介護)を、ゾーニングや多様性を持った部屋を基本に利用者とサービス側の適切な距離感など、Peaceful(心の平安)を提供できるように心掛け、設計提案を行った。

14

専門学校東京テクニカルカレッジ

DIPLOMA 2021

全国専門学校建築教育連絡協議会 卒業作品集・活動報告

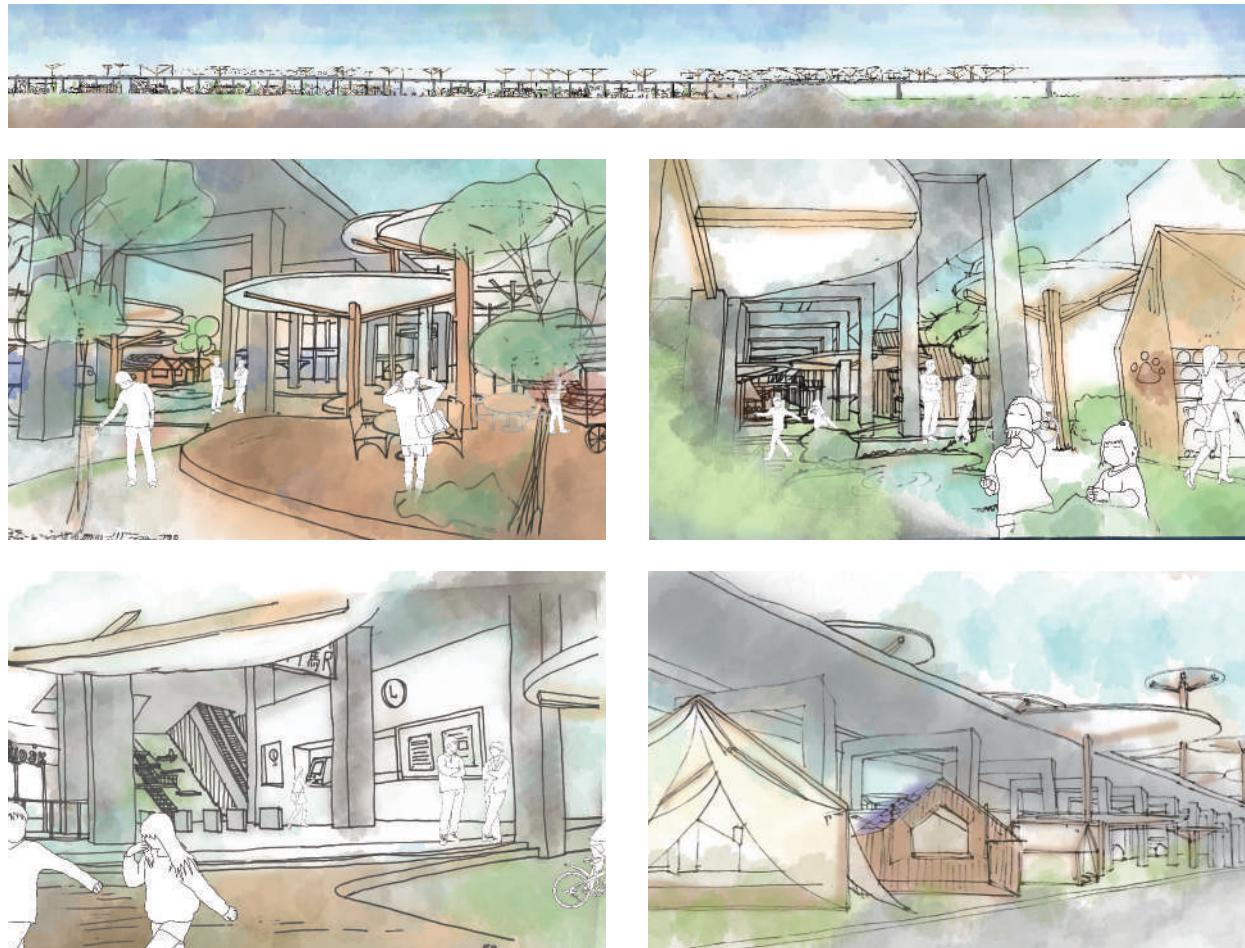
江戸川が暮らす場所

～高架下商業施設の提案～

読売理工医療福祉専門学校

建築学科

吉村 優里



本設計は、京成江戸川駅界隈を対象エリアとした「地域住民のこれからの暮らしに寄り添うサードプレイスとマルシェ」の提案である。リモートライフの急速な一般化に伴い、都市は、暮らす、働く、学ぶ、遊ぶなど様々なアクティビティに対して構造変容が求められているが、対象エリアは未だ「これからの暮らし」に対応できていない。また鉄道による南北の分断も大きな問題であった。そこで京成線の高架化を機に、高架下と線路に沿った空間を利用して、新たな居場所となるサードプレイスを展開し、地域生活のインフラを支えるために小さな建物が立ち並ぶマルシェを形成し、これらを有機的に融合しながら機能させることで、地域を繋げ、人々が程よい距離感で集まれる空間を作ろうと考えた。水と緑を感じられる空間を作ることで、この地域が忘れていた親水性を蘇らせ、地域住民の暮らしに潤いを与えることができるだろう。

15

読売理工医療福祉専門学校

これからの地域施設

～市民文化センター建て替え計画～

青山製図専門学校

建築学部 建築工学科

石川 大寛



展望台から緑地を見る

模型写真 大階段からの視点

今回は自分自身の地元でもある埼玉県東松山市に位置する市民文化センターの建て替え計画を行った。今回の敷地は住宅街の中心に位置しており、既存の用途としては近隣住民の発表の場となる劇場、多目的教室などが収容されている。既存のプランニングでは閉鎖的な印象があつたため、改善を試みることにした。まず、南北にわたって大階段を設置することにより、地域住民の憩いの場を設けた。又劇場のほかに図書館を併設することにより、場にとどまることが出来る居場所とした。敷地正面には柏崎緑地が東西にわたって連なっており、住宅街の上を行く視界を確保することにより、緑地との関係性を生み出し、地域環境がより良いものになるように検討を行った。

16

青山
製
図
専
門
学
校

西葛西認定こども園

中央工学校
建築室内設計科
片桐 咲



江戸川区は待機児童数が全国2位と非常に多い反面、保育ニーズに対応する施設が少ない地域です。また、ライフスタイルの変化により、人間関係・地域交流の希薄さが目立っていることから、子供・大人・地域の支え合いの関係性を「紡ぎ」ながら、その輪を「広げる」そんなきっかけとなるような認定こども園を提案します。

この認定こども園は、中庭を包み込むような建物の構造、通りからでも中の様子が窺える音楽スペースなど、様々な方向からお互いを意識できる設計にしました。

17

中央工学校

まちをつなぐ屋根と空

中央工学校
建築設計科
顧洋



そこにいることが心地よい豊かな“とき（瞬間）”であるとともに、そこで学び、出会い、体験したことが、その人の“とき（人生）”を豊かにする。充実した閲覧・学習ゾーン、カフェなどを備えた図書館が、家でも学校や職場でもないサードプレイスとして、市民がほっとできる場になる。さらに、行政センターを含め、駅直結の高い利便性によって、大勢の人に利用され、市民に豊かな時間をつくり、中心市街地のにぎわいにも繋がっていく。

中央部分は、柱が屋根を構成する部材と繋がっていて、吹き抜けの公共空間が空と繋がるイメージで構成された空間の中で、活発な市民交流を促す。

connect to belt

～記憶に残る蘇我～

筑波研究学園専門学校
建築環境学科 建築設計デザインコース
宮本 尚矢,石塚 紗人,上沢 功竜,沼田 優弥

千葉市は千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心の3つの都心を軸とした都市づくりを推進している。千葉都心は県庁所在地として、幕張新都心は幕張メッセなどの有名な建築物や商業施設が多くあり栄えている。しかし蘇我には強い主張するものがない。そこで蘇我に千葉市が掲げる開発テーマ「訪れる人の記憶に残る蘇我」の顔となる建物を計画する。

着目したのは駅前の商店街。1直線に店舗群が並ぶいわゆる「従来の商店街」を構成しており、動線や視線に変化がなく、記憶にも未来にも残らない。そこでこの地を新しい空間に造り替え、蘇我の顔となる空間をつくり出し、活気あふれる街にしたい。

敷地には高低差、建物には角度をつけることで複雑な構成とし、上下左右に広がる空間が記憶に残ると考えた。

建物は敷地全体を建築物とした4層構造となっている。駅側にはステージを、敷地中央部には親水空間を設け、市民の交流の場とする。敷地の通路空間は一部渓谷のようになっており、低い階層にいる人は路地の気分が味わえ、上下の視線を楽しむことができる。2、3層目は主にテナント形式の店舗が入り、屋上部は「水のテント」と「森のテント」の建築物を計画。「水のテント」では運動を、「森のテント」では芝の広い空間でアウトドアなどが楽しめる。

緑の少ない駅前広場に緑と融合したこの建築物が蘇我を訪れる人々の活動の拠点となり、新しい副都心蘇我として千葉市の中核を担ってほしいと思う。



18

筑波研究学園専門学校

ポスターcontest

「第21回 専門学校卒業作品展示会」のポスターcontestに会員校7校、67点の学生作品の応募がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に続き一堂に会しての審査会ではなく全応募作品、投票用紙を各校へ案内の上、教員による審査をいたしました。

審査は会員校12校、34名の教員投票により、最優秀賞1点、優秀賞3点、入選3点を選出しました。



2020年度 最優秀賞

川畑 汐里 (青山製図専門学校)

<審査結果>

- | | | |
|------|--------|---------------|
| 最優秀賞 | 川畑 汐里 | (青山製図専門学校) |
| 優秀賞 | 塩澤 瑞唯 | (中央工学校) |
| 優秀賞 | 佐藤 千笑 | (日本工学院専門学校) |
| 優秀賞 | 松本 志穂 | (青山製図専門学校) |
| 入選 | 小名木 柚希 | (青山製図専門学校) |
| 入選 | 櫻井 琴音 | (日本工学院専門学校) |
| 入選 | 松永 時斎 | (東海工業専門学校金山校) |

* 第21回 専門学校卒業作品展示会[2021年6月14日～6月26日] 建築会館1階ギャラリー(日本建築学会)にて、準備を進めておりましたが、緊急事態宣言発出とコロナ禍のため開催を見送りました。

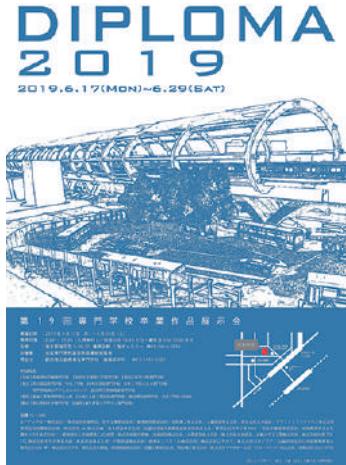
これまでのポスター・コンテスト最優秀作品と展示会の様子

会員校に在籍する「建築・インテリア」系学科の学生対象で翌年度開催の「専門学校卒業作品展示会」のポスター・コンテストを継続で開催しております。近年5カ年の最優秀作品をご覧ください。



2019年度 最優秀賞

木村 拓哉
(日本工学院専門学校)



2018年度 最優秀賞

井上 巧貴
(日本工学院八王子専門学校)



2017年度 最優秀賞

藤原 唯
(中央工学校)



2016年度 最優秀賞

川崎 大樹
(日本工学院八王子専門学校)



2015年度 最優秀賞

高本 幸和
(中央工学校)



過去の展示会の様子 [建築会館1階ギャラリー(日本建築学会)]

会員校一覧

学校名	所在地
日本工学院北海道専門学校	〒059-8601 北海道登別市札内町184-3
国際情報工科自動車大学校	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-15
筑波研究学園専門学校	〒300-0811 茨城県土浦市上高津1601
中央工学校	〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17
青山製図専門学校	〒150-0032 東京都渋谷区鷺谷町7-9
読売理工医療福祉専門学校	〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1
専門学校東京テクニカルカレッジ	〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3
東京工学院専門学校	〒184-8543 東京都小金井市前原町5-1-29
町田・デザイン専門学校	〒194-0022 東京都町田市森野1-27-18
日本工学院専門学校	〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
浅野工学専門学校	〒221-0012 神奈川県横浜市神奈川区子安台1-3-1
新潟工科専門学校	〒950-0932 新潟県新潟市中央区長潟2-1-4
伝統文化と環境福祉の専門学校	〒952-1209 新潟県佐渡市千種丙202-1
東海工業専門学校金山校	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-7-19
京都建築大学校	〒622-0041 京都府南丹市園部町二本松1-17
大阪工業技術専門学校	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1-8-24
大阪建設専門学校	〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町3-16
修成建設専門学校	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30
中央工学校OSAKA	〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-1-43
日本工科大学校	〒672-8001 兵庫県姫路市兼田383-22
岡山科学技術専門学校	〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8-10
岡山理科大学専門学校	〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
広島工業大学専門学校	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1
麻生建築&デザイン専門学校	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13
福岡建設専門学校	〒811-0053 福岡県福岡市東区箱崎6-15-34
専修学校サイ・テク・カレッジ	〒904-0115 沖縄県北谷町美浜1-5-16

協賛

企業・団体名	所在地
株イトーキ	〒103-6113 中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
エーアンドエー(株)	〒108-0075 港区港南2-13-29 キヤノン港南ビル7階
菊池建設(株)	〒188-0001 西東京市谷戸町3-17-6
技研施工(株)	〒107-0062 港区南青山7-3-1
工藤建設(株)	〒225-0003 横浜市青葉区新石川4-33-10
株久米設計	〒135-8567 江東区潮見2-1-22
株国際総合計画	〒950-0916 新潟市中央区米山2-7-3 ITPケヤキビル
坂田建設(株)	〒130-8522 墨田区本所3-21-10
三友建設(株)	〒192-0041 八王子市中野上町4-39-2
(公社)商業施設技術団体連合会	〒108-0014 港区芝5-26-20 建築会館
住友不動産(株)	〒163-0819 新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
成友興業(株)	〒197-0802 あきる野市草花1141-1
大豊建設(株)	〒104-8289 中央区新川1-24-4
株大米建設	〒901-0145 那霸市高良3-1-1
TAC(株)	〒101-8383 千代田区神田三崎町3-2-18 TAC本社ビル
TTC(株) タケダ事業本部	〒132-0034 江戸川区小松川3-4-1 エクセルビル3階
徳倉建設(株)	〒460-0003 名古屋市中区錦1-18-22 名古屋ATビル6階
中野建設(株)	〒105-0014 港区芝3-42-9 中野第一ビル
西尾レントオール(株)	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-11-17
株ニチボウ	〒141-0022 品川区東五反田1-9-5
(公社)日本建築積算協会	〒105-0014 港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル3階
馬淵建設(株)	〒232-8858 横浜市南区花之木町2-26
(一社)マンションリフォーム推進協議会	〒102-0083 千代田区麹町4-3-4 宮ビル8階
武藤工業(株)	〒154-8560 世田谷区池尻3-1-3
株ヤマダホームズ	〒370-0841 高崎市栄町1-1
リコージャパン(株)	〒104-0045 中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス4階
リビングデザインセンターOZONE	〒163-1062 新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー7階
株ローヤルエンジニアリング	〒171-0051 豊島区長崎1-11-19

五十音順



技研施工株式会社



KUME
SEKKEI

iip 国際総合計画



坂田建設株式会社



三友建設株式会社

公益社団法人 商業施設技術団体連合会



一信 用 と 創 造 —

住友不動産

SEIYU

大豊建設株式会社



未来への架け橋となる企業でありたい
株式会社 大米建設

資格の学校
TAC

T T C



徳倉建設株式会社



中野建設株式会社
Nakano kensetu Inc.



総合レンタル業のパイオニア
西尾レンターオール株式会社



もうひとつの防災110番
株式会社 ニチボウ



コストがわかれば 建築が見える!
公益社団法人日本建築積算協会
The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

Mzec

REPCO

あなたのマンションを100年先へ
一般社団法人
マンションリフォーム推進協議会

MUTOH
武藤工業株式会社

YAMADA HOMES

RICOH

Q
ZONE

L E D 快適・環境・創造会社
株式会社ローカルエンジニアリング

発行日 2021年8月31日
発行元 全国専門学校建築教育連絡協議会
<http://zensenkenkyo.jp/>

事務局 中央工学校
〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17
TEL:03-3906-1211 FAX: 03-3906-1250